



学校教育目標 **「主体的に行動する生徒」**  
●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

**「四魂祭で身に付けた力を発揮するのはここから」** 校長 菊地 範士

9月21日には素晴らしい文化の部を見せてくださいました。  
それから4週間、今度は体育の部に向かって各クラス、各学年、そして応援団が練習に励んできました。グラウンドに響くかけ声、体育館からのソーラン、そして太鼓の響き。力強い音を聞きながら本番を楽しみにしていました。



3年応援委員による演舞

当日は、応援団の迫力ある演舞、真剣に走る徒競走、クラスの団結を見せてくれたリレーと学年種目。そのどれもが輝き、美しい姿でした。

3年生を中心に、みなさん自身が四魂祭を創りあげたのです。四中が目指す生徒の姿である「主体的に行動する生徒」に大きく近づきました。四中生としての誇りと自信を持ってほしいと思います。毎年、最高を更新し続ける四魂祭、今年も確実に最高を更新できました。

さて、四魂祭の成功がゴールではありません。四魂祭を成功させることは大きな目標ですが、四魂祭の最大の目的は、みなさんが四中生として、また、人として大きく成長することです。四魂祭を通して、様々な力を身に付けることなのです。

練習を少しでもたくさんやるために時間を守った。練習の効果を求めて集中して取り組んだ。必死にがんばっているリーダーに協力した。クラスのために努力した。友達のすごさを知った。仲間を誉めた。みんなで喜んだ。みんなで悔しかった。自分の弱さも知った。自分にできることを全力でやった。そして、一生懸命取り組むことの素晴らしさを味わったことでしょう。みなさんは、確実にこれらの経験を、様々な力を身に付けました。

四魂祭を通して身に付いた力を、これからの生活に生かしてこそ、本当の意味で「四魂祭の成功」と言えます。「時を守り 場を清め 礼を正す」という言葉があります。時間を大切にする(時間を守る)。環境を整える(常にきれいにする)。人を大切にする(挨拶や返事をする)。という意味の言葉です。常にこのことを意識して生活しましょう。さらに、私たち四中では「四中三大文化～あいさつ、歌声、清掃～」のさらなる発展も大きな目標となっています。

四魂祭を成功させたみなさんなら、身に付いた力をこれからの生活の中で発揮してくれると信じています。みなさんの大きく成長した姿を見せてください。期待しています。

《11月全校集会・校長先生の話から》



1年「大縄とび」



2年「多人多脚」



3年「四中ソーラン」

## 温かな声援、励ましの言葉をありがとうございました。

四魂祭文化の部と同様、体育の部への参観も制限を解除してたくさんの保護者の方に参観いただき、生徒の「情熱」を届けることができました。

一部ですが、アンケートにお答えいただいたご意見を掲載いたします。

### 【保護者アンケートから】

○子供たちが頑張っている姿を見ることができてよかったです。

○種目を頑張っている姿、声を出して応援している姿、とてもよかったです。

○四中の生徒全員が一つになって楽しんでいる姿がとても感動しました。

○担任の先生をはじめとしてクラスの一致団結した姿、また学校全体が一つになり作り上げた体育の部だなと強く感じました。

▲天気が良く、立ち見は暑くて大変でした。

▲白組の生徒は徒競走が見えなく残念でした。

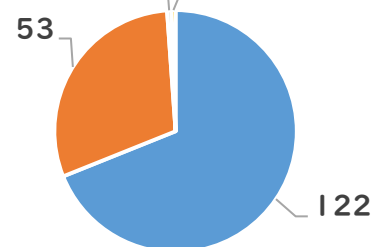
▲トラック内にいる生徒や先生が立っていたため、選手が見えづらいことがありました。

▲学年種目は、全学年得点種目が良かったです。

来年度の四魂祭をより良くするため、いただいたご意見を真摯に受け止め、参考とさせていただきます。たくさんのご意見をありがとうございました。

四魂祭体育の部保護者アンケート

(回答数177人)



「大変良い122人」、「良い53人」  
「良くない1人」「大変良くない1人」



PTA種目「綱引き」

## 人権教育講演会を行いました 令和5年10月26日(木)

富士宮市DV対策基本計画に定める「DVを容認しない教育の推進」の取組として、NPO法人レジリエンス代表西山さつき様を講師に、講演会を行いました。

デートDVという言葉は聞いたことがあるが、どこか遠くの世界の話だと認識していた生徒が多くいましたが、講演会の中で、10代のカップルの3組に1組がデートDVを経験していると聞き、驚きの声が上がっていました。DVは暴力だけでなく、心無い言葉、尊重のない束縛も該当することを知り、友達や家族への接し方を見直すきっかけにもなったと思います。

### 【生徒お礼の言葉から 3年6組 佐野 瑞季さん】

私は初めてデートDVという言葉を知りましたが、自分たちにとって身近なものだと知り、驚きました。今後パートナーや友達を作る機会がある時には、「互いに尊重し、対等な関係を作る」ということを意識していきたいと思います。

お赤飯おいしいよね

おかしいのかな…

ええ〜？普通鮭とかツナでしょ

常識だよ、  
そんなことも分からないの？